山形県広報誌県民のあゆみ平成30年９月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

# ＜表紙＞

山形県広報誌／県民のあゆみ　平成 30 年９月号 605 号

## 県民のあゆみ　９月号

特集　やまがたの上質ないいもの　その魅力をもっと伝えたい
奏であう人　命を守り生きる力を育む防災
やまがた伝説　将棋駒

写真キャプション）
お酒造りに欠かせない酒米。生産農家の方から、昨年度デビューした大吟醸酒用 酒造好適米新品種「雪女神」の生育状況について、説明いただきました。収穫後には、各酒蔵においておいしい酒造りが始まります。（表紙撮影協力：まきの農園／山形県酒造組合）

# ＜２から３ページ＞

タイトル）県政できごとアラカルト　こんなことがありました

１）　**山形の魅力を発信！**
**第７回日本一さくらんぼ祭り（６月23日・24日 山形市）**

生産量日本一のさくらんぼを通して本県の魅力をPRする「日本一さくらんぼ祭り」が、今年も文翔館や七日町大通りなどを会場に開催されました。オープニングセレモニーには、駐日イギリス大使御夫妻にもご臨席をいただきました。大人気の「日本一巨大な流しさくらんぼ」や「さくらんぼ種飛ばしニコニコ相性コンテスト」、さらには「大鍋でさくらんぼすくい」など多くのイベントが開催され、来場者は過去最高となる24万８千人と大盛況でした。

２）　**酒田の街が外国人でにぎわいました**
**「ダイヤモンド・プリンセス」初寄港（７月１日 酒田市）**

約11万トンの豪華客船が、約3,000人の乗客を乗せ酒田港に初寄港しました。船内で行われたセレモニーで吉村知事は、「山形県は精神文化が息づく日本人の心のふるさとであり、日本一の美食・美酒県です。魅力をご堪能いただきたい。」とあいさつしました。寄港中は、乗客の多くが、酒田市内などで観光や県民との交流を楽しみました。県では、今後もクルーズ船の誘致を進め、本県の魅力を世界に発信するとともに、観光誘客及び地域活性化に取り組んでいきます。

３）　**「日本一美酒県」を国内外にPR**

**ＩＷＣ授賞式及び英国でのプロモーション（７月８日から12日まで イギリス）**

世界最大規模のワイン品評会であるIWCの授賞式が７月10日にロンドンで開催され、「SAKE部門」審査会の開催地代表として吉村知事が出席しました。本県の東北銘醸株式会社が、今年の審査会に出品した456蔵の中で最も評価の高い酒蔵に贈られる「年間最優秀酒蔵」を受賞しました。また、在英国日本国大使館や市内レストランにおいて現地のバイヤーやメディアなどに対し、県産酒の試飲を中心にプロモーション活動を実施し、本県の優れた魅力をＰＲしました。

※インターナショナル・ワイン・チャレンジ

４）　**創業を目指す若者を応援します！**

**「若者創業応援プロジェクト事業」キックオフイベント（７月14日 山形市）**

新たな発想と意欲を持つ若者のアイデアを創業につなげるため、県では、今年度から創業に関心の高い若者の掘り起しやビジネスプラン構築のサポートなどの事業を開始しました。そのキックオフとして、トークショーや若手創業者などによるパネルディスカッション、交流会を行いました。創業の意義や成功のための工夫など、参加者約160名の創業意欲を高める活発な議論が交わされました。今後も、若者の挑戦を応援するさまざまな取組みを進めていきます。

５）　**やまがたでつながる！**

**ボーダレスアート展2018オープニングセレモニー（８月１日 山形市）**

「境界線(ボーダー)を越えてつながる無限の可能性」をテーマに、山形・新潟・福島３県の障がいのある人の芸術活動を紹介する展示会が初めて開催されました。文化芸術活動は、障がいのある方の喜びや自信につながり、生活をより豊かにするものです。障がい者芸術の魅力や素晴らしさを多くの方々に発信していきたいと本県の提案により実現しました。セレモニーで吉村知事は、「県民の皆さんが障がい者芸術に関心を持ち、親しむ機会の一助となれば。」とあいさつしました。

タイトル）**にっこり知事室！**

## 美食県やまがたに「雪若丸」見参!!

まもなく、新米の季節。黄金色に輝く稲穂が連なりますね。そして、山形の新しいお米「雪若丸」がいよいよ本格デビューします。

雪国山形の豊かな水の恵みを受けて育った「雪若丸」は、「つや姫」の弟君だけあって、とても色白なんですよ。炊き上がりは、雪のように白く輝きます。ひと粒ひと粒が大きく、しっかりとしていてかみ応えがあります。そこに適度な粘りが加わり、これまでにない新食感が特長です。味わいは、もちろん折り紙つきで、昨年の米の食味ランキングで最高位の特Ａを獲得したんですよ。全国的に新品種のデビューが相次いでいますが、どこにも負けないお米だと自信を持っています。

私も、「つや姫」、「はえぬき」とともに、「雪若丸」を全国の皆さんに全力でＰＲしていきますので、県民の皆さんもぜひ、実際に食べていただき、その特長、美味しさのＰＲをお願いします。「雪若丸」が「つや姫」に続くトップブランド米となり、美食県やまがたの新しいスターになることを切に願っていますので、県民の皆さん、応援よろしくお願いします。

## ＜４から５ページ＞

### タイトル）特集　やまがたの上質ないいもの　その魅力をもっと伝えたい

　戦場カメラマンの渡部陽一さんを監督に、本県のものづくりに携わる女性を描いたＰＲ 動画「ものの婦」を作成しました。Web を中心に動画を広く発信することで、「優れた製品・産地＝山形県」のイメージが広がっていくことを目指しています。
検索ワードに“いいもの山形”を挿入しクリック！
https://iimono-yamagata.jp

### 山形県産品の魅力を積極的に発信しています

　本県には、さくらんぼ、牛肉、米などの農産物から、日本酒や芋煮などの郷土料理、さらには織物や鋳物、木工などの工芸品から最先端の工業製品まで、さまざまな特産物があります。
　これらの県産品は、手間を惜しむことなく、妥協せず、一途に粘り強く丁寧につくられた「上質ないいもの」ですが、その良さを広く県内外に伝えきれていないのが現状です。
　現在、県が実施している「県産品ブランドプロモーション」では、その魅力をしっかりと発信することで、「山形県産品＝上質ないいもの」というブランドイメージを確立し、県産品を起点に県全体の価値をより高めることを目指しています。
　これまでに、プロモーションの旗印となるブランドマークの山形駅などへの掲出、「手間を惜しむことなく、妥協せずに、一途に粘り強く丁寧にものづくりに向き合う」女性職人を描いたＰＲ動画の制作と動画サイトでの公開、県民の方から実際に県産品を使っていただくモニターキャンペーンなどを実施してきました。
　今後も引き続き、ものづくり県としてのイメージを向上させることで、県内外の方々から県産品に興味・関心を持っていただき、県産品を選んで購入していただけるよう、さまざまな取組みを進めていきます。

Ｑ：「『山形県』のものと知っていた」商品を全て選んでください
※■は首都圏（1都3県）の消費者の回答、■は県内居住者の回答
**さくらんぼ**　首都圏の消費者の回答　71.9%／県内居住者の回答　89.9%
**牛肉** 首都圏の消費者の回答　59.8%／県内居住者の回答　90.3%
**米** 首都圏の消費者の回答　45.0%／県内居住者の回答　89.4%
**将棋駒** 首都圏の消費者の回答　33.8%／県内居住者の回答　82.7%
**地酒** 首都圏の消費者の回答　25.7%／県内居住者の回答　80.7%
**紅花** 首都圏の消費者の回答　16.5%／県内居住者の回答　82.1%
**木工家具** 首都圏の消費者の回答　9.1%／県内居住者の回答　54.3%
**ニット** 首都圏の消費者の回答　4.8%／県内居住者の回答　56.5%

県内で自慢の製品も、県外ではあんまり知られてないみたい・・・

■消費者意識調査（山形県実施）　調査手法：インターネット調査 回収：首都圏（１都３県）
　居住者2,000人 県内居住者1,000人 調査実施期間：平成30年３月９日（金曜日）から13日（火曜日）まで

**プロモーションの旗印となる「ブランドマーク」をつくりました！**

マークは５種類。背景は、雪の「白」、質の高さや高級感を表す「黒」、県旗の「青」、さくらんぼの「赤」、森の「緑」とそれぞれ山形県をイメージさせる色調を用いました。

県の形を県内市町村数と同じ35色、35個のキューブで表しています。

「山形県産品＝上質ないいもの」というブランドづくりを、このマークを目印に進めています。皆さんもぜひ県産品の魅力発信にご協力をお願いします。

## 「日本一美酒県山形」の素晴らしい日本酒

県産品の中で最近注目を集めているのが、都道府県単位で初めて国税庁から清酒の地理的表示（ＧＩ）の指定を受けた清酒（日本酒）です。

本県は、美しい山々を源とする豊富で清らかな水に恵まれています。この地で精力的に米の開発に取り組み、酒造好適米「出羽燦々」（でわさんさん）「出羽の里」「雪女神」が生まれました。また、官民が一体となって醸造技術の向上や人材育成に積極的に取り組み、作り手の熱い想いと技術で醸造される日本酒は、世界に誇る「やわらかく透明感のある飲んでおいしい、山形の酒」として確立されました。農家と蔵人の思いを込めた県産酒は高く評価され、ＧＩの指定やＩＷＣ「SAKE部門」の本県での開催につながっています。

**日本一美酒県 山形**

●都道府県で初めて国税庁の地理的表示（ＧＩ）の指定

●ＩＷＣ（※1）2018「SAKE 部門」審査会（東北で初開催）

・３部門で最高位となるトロフィー受賞

・17銘柄で金メダル受賞

金メダル受賞数は５年連続全国一位 ※いずれも都道府県最多

・年間最優秀酒蔵受賞(※2)

●全米日本酒鑑評会

金賞受賞数11年連続第１位

●地酒人気銘柄ランキング（株式会社フルネット調べ）12年連続 第１位

※1 世界最大規模のワイン品評会であるインターナショナル・ワイン・チャレンジ

※2 複数エントリーした酒の全てにわたって高評価を得た酒蔵が受賞するもの。

## 県産酒で乾杯を！

県民の皆さんには、おいしい県産酒を知って、楽しんで、県内外に発信していただきたいと思います。

県では、毎年10月１日の「日本酒の日」に、「乾杯は県産酒で！」イベントを開催しています。おいしい山形のお酒で乾杯しましょう！

ぜひご覧ください!
県政テレビ番組いき☆いきやまがた放送のご案内
「山形県産品の魅力を広く伝えるために」をテーマに県内民放４局で特別番組（30分）を放送します。
●テレビユー山形（ＴＵＹ）９月９日（日曜日）午後４時24分から
●山形テレビ（ＹＴＳ）９月15日（土曜日）午後０時30分から
●山形放送（ＹＢＣ）９月22日（土曜日）午後４時25分から
●さくらんぼテレビ（ＳＡＹ）９月30日（日曜日）午後２時30分から
※放送時間は変更になる場合があります。

## コラム　『山形発』の先進技術が宇宙で活躍！

宇宙航空研究開発機構（JAXA）の小惑星探査機「はやぶさ２」が３年半の航行を経て、今年６月に小惑星リュウグウの上空に到着しました。母船には大学コンソーシアムで開発された探査ローバー「MINERVA-II-2」も搭載され、この中には山形大学工学部の妻木勇一研究室、峯田貴研究室が開発した「環境駆動型跳躍機構」が組み込まれています。昼夜の温度差で曲がる金属積層板（バイメタル）を用い、変形のエネルギーを一気に解放して跳躍させる仕組みで、バッテリーなどを使わず長期にわたって小惑星上を動き続けることが期待されます。大学で開発されたローバーが小惑星探査をすることは難易度の高い画期的な挑戦であり、開発者一同も遠い宇宙での実験を見守っています。（山形大学・妻木、峯田）

写真キャプション）コピーライト MINERVA-Ⅱ-2 コンソーシアム
写真キャプション）ミネルバ跳躍機構

問い合わせ ◎ 産業政策課 電話 023-630-2360

# ＜４から５ページ＞

## タイトル）　若者たちのチャレンジを応援します!

県では、今年度から、地域を元気にする活動を行う若者たちをサポートする「若者支援コンシェルジュ」事業をスタートしました。その一環で、７月からは若者活動の相談窓口を開設しています。
若者が持てる力を十分に発揮できる環境づくりを進め、若者たちの新たなつながりと活動の広がりを応援していくことで、住みよい地域づくりを進めていきます。

### 若者向けの応援窓口「若者支援コンシェルジュ」があなたを応援します！

イベントやボランティアなど地域活動を始めたい、地域とのつながりを深めたい、そうしたやまがたの若者の皆さんからのお問い合わせ・ご相談をお待ちしています。

**１．　元気応援「なんでも相談窓口」**
40才くらいまでの方で、これから地域活動を始めたい方はもちろん、現在活動中の方からも、幅広く

相談をお受けし、活動の展開をサポートします。お気軽に、お電話やＳＮＳ、メールなどでお問い合わせください。

例えば…
◎活動に関する困りごと、知りたいことがある
◎事業をもっと活発にしたい など
電話でのお問い合わせは…
月曜日から金曜日まで　午前９時から午後７時まで
電話 070-5621-7111

**２．　かゆいところに手が届く「若者サポーター」の訪問お手伝い**

ちょっとだけ先輩の「若者サポーター」が、直接訪問し、若者の皆さんの活動をサポートします。まずは、「なんでも相談窓口」にご相談ください。

例えば…
◎チラシ・ポスターを作りたい
◎イベント企画のコツが知りたい
◎会社やNPO法人の設立をしたい など
窓口・サポーターのお問い合わせは
若者支援コンシェルジュ事務局（AISOHO企業組合）
郵便番号 990-0832 山形市城西町５-29-19
電話 070-5621-7111　／ ファックス 023-673-0703
WEB https://aisoho.jp/concierge
LINE　Facebook：@wakamonoshienc

**ラジオ番組yamagata DIVE(ヤマガタダイブ)がseason２(シーズンツー)として再始動**

やまがたの若者を応援するラジオ番組が、今年も始まりました。

県民の皆さんを元気にしてくれる若い世代の活動をお伝えします。ぜひラジオを聞いて、応援してください。

ＹＢＣラジオ　毎月第３土曜日　午後０時20分頃から（オーレオーレ!内）
※放送時間が変更になる場合があります。
問い合わせ ◎ 若者活躍・男女共同参画課 電話 023-630-2262

## タイトル）できることから始めよう！ 防災の取組み　～９月は山形県防災月間です～

**災害への備え、何をすればいいの？**

災害が起きたときは、まずは自分の身を守ることが第一です。皆さん備えはしていますか？ 突然やってくる災害に、何か備えておいた方がいいと思っていても、ついつい後回しにしてしまいがちです。

県では、自分のいのちを守るための最も基本的な行動である「シェイクアウト」と、簡単・手軽にできる

備蓄の方法である「ローリングストック」の普及を進めています。防災月間を機に、この２つの取組みを家庭や職場などでチャレンジしてみましょう！

**やってみよう！「シェイクアウト」**　～これぞ基本、だからこそ大事！～
「シェイクアウト」とは…地震が起きたとき、あなたのいのちを守る行動
１．まず低く　２．頭を守り　３．動かない!
　皆さんも学校などで訓練したことがあると思います。それだけ大事なことなのです。
　でも、いざというとき、とっさにこの行動ができるでしょうか？行動するためには訓練して、身体に覚え込ませることが重要です！

屋内にいたら…揺れがおさまるまで、テーブルの下で待ちます
屋外にいたら…建物やブロック塀から離れて、かばんなどで頭を守ったり、うずくまります
◆市町村、地域、学校、職場の防災訓練などでやってみましょう。まずは自宅で家族一緒に！

**「ローリングストック」始めませんか？**　～普段の買い置き＝災害への備え！～
　災害で水道や電気が止まったり、食べ物や日用品がスーパーから消えていたり…そんな経験をしたことはありませんか？
　そうした場合に備え、少なくとも３日分、できれば７日分の食べ物、水、生活必需品を備えておきましょう。
　「でも、色々大変そう…。」と思うかもしれませんが、ちょっとした工夫で結構簡単にできるんです！

「ローリングストック」とは…「使いながら、無駄なく備える」災害用備蓄の考え方です。
１．食べ物や日用品を普段より多めに購入
２．古いものから、日々の生活の中で使う
３．常に新しいものを買い足しておく
　自宅にある「普段の買い置き」の缶詰や水のペットボトルなども、実は立派な災害への備えなんです！

**自宅や職場、学校の中は安全ですか？**
　大阪府の北部を震源とする地震では、室内で家具などの転倒により亡くなった方がいました。
　家具や本棚、電化製品などが地震の揺れであなたを襲うことがないよう対策をしましょう！
【例】Ｌ字金具で壁に固定する、耐震粘着マットを敷く など

問い合わせ ◎ 危機管理課 電話 023-630-2671
検索ワードに“山形県 こちら防災やまがた！ シェイクアウト ローリングストック”を挿入しクリック！

## ＜８から９ページ＞

タイトル）　**奏であう人**　ボリューム46

撮影場所　山形県庁／市町村ハザードマップを背景に（山形市）

## キーワード…命を守り生きる力を育む防災

東日本大震災を機に、被災者支援活動を通して、防災、避難所運営の大切さを伝える。
日々の暮らしに根ざした「減災」の取組みを説く。そんなお二人に話をお聞きしました。

**細谷真紀子(ほそやまきこ）さん（山形市）**
◎東根市出身、山形市在住。消防団一家に生まれ育ち、2014年防災士を取得し、「減災」を広める活動を開始。2016年より建築士、保育士の知識・経験を活かし、女性や子どもの視点に立って減災を伝える「減災Days(デイズ)」を起業。災害に対する考え方や実践の指導を行っている。山形県防災士会理事、山形県自主防災アドバイザー、山形市消防本部応急手当普及員などを務める。
写真キャプション）
県応援事業での減災ワークショップの一コマ。細谷さんは「減災は自助・共助・公助・復興につながる、日常の暮らしから始まるいのちを守るしなやかな生き方」をテーマに、どんな人でも簡単に楽しく取り入れられる「減災」を伝える講演や講座を開催している。

**早坂 信一(はやさかしんいち）さん（寒河江市）**
◎山形市出身、寒河江市在住。東日本大震災を契機に、炊き出しやボランティアバスの運行に取り組む。福島県をはじめとする被災者支援や支援者育成を継続するために、2016年、ＮＰＯ法人「やまがた絆の架け橋ネットワーク」を設立。さまざまな交流やイベントを通して、避難者のストレス軽減と見守りを行う一方、地域の防災力アップに努める。
写真キャプション）
東北公益文科大学で実施した「HUG(ハグ）山形版」の研修風景。「ＨＵＧ」は「避難所運営ゲーム」の頭文字をとったもの。実際の現場を想定したさまざまな課題や問題をカード化し、これをチームで解決していく。ゲームという身近なもので、防災の意識を育んでいく。

## 継続した被災者支援　防災や減災への取組み

　ＮＰＯ法人の代表として、東日本大震災の被災者支援をはじめとした災害支援を行っている早坂さん。きっかけは、地元寒河江市のみこし会の仲間で行った炊き出しのボランティアだったと言います。
「最初は３月26日でした。あまりにも悲惨な状況で、一度や二度ではどうにもならないと思いました。そこで参加者を募ってボランティアを継続し、翌年からは大型バスを借りての活動に発展していきました」。
　あわせて、寒河江市を中心に、県内への避難者の支援や交流サロンを通した心のケアを現在まで継続して行っています。
　一方、今年度「山形県自主防災アドバイザー」として活動している細谷さんは、震災の際、周囲の人が身

を守る行動をとらないことに違和感を覚えたと話します。
「特に女性や子どもなど災害弱者と言われる人には、防災情報が身近でなく、防災意識が生活に根付いていないことが問題だと感じました。
そこで、減災を日々の暮らしに取り入れて命を守る生き方やノウハウを伝えています」。

## 避難所運営カードゲーム　　防災を楽しく学ぶ減災フェス

多くの被災者に接する中で、細谷さんが取り組む防災や減災の大切さを痛感すると早坂さんも話します。
「会話不足など家庭内での小さな問題が、災害をきっかけに大きく露呈して、立ち直る障害になることが多いです。日常生活の中で、家族みんなで防災を考えることが大切です」。
自身の体験、ノウハウを次に活かすため、避難所運営をシミュレーションするカードゲーム「ＨＵＧ（ハグ）」の山形県版を制作しました。
「ゲームを通して、避難所で次々に起こる課題への対処法を学ぶことで、地域の防災を見直すきっかけになればと思います」。
細谷さんが言葉をつなぎます。
「被災後の精神的ダメージを減らすには『生きる楽しみ』が必要です。女性であれば、化粧品を備えることも減災なんです。被災して失われるのは日常です。命だけでなく暮らしを守るなど生きる力を身につけていくことが減災につながっていきます。
楽しみながら減災、防災を学べるお祭り『減災フェス』も計画中です」。

## 災害は日常の延長　常に減災、自助の意識を

「減災フェス！それはいいですね。」と早坂さん。
「非常食も、毎日同じでは耐えられません。いち早く日常を取り戻すことが、復興につながっていくと思うので、細谷さんの取組みには共感します。全小学校が防災学習館に足を運ぶ他県の状況を目の当たりにすると、山形県での防災意識はまだ足りないと痛感します。大人はもちろん、子どもを対象にした取組みや防災教育が大切です」。
「そうですね。いつも災害は突然起こります。地震ではなく、火事はどうか？と考えれば、災害は身近にあることが理解できると思います。
自分を守る自助は共助につながり、そして命をつなぐ力になります」。

# ＜10 から 11 ページ＞

# タイトル）第68号　県議会だより

写真キャプション）６月定例会の様子

## ６月定例会の概要

平成30年６月定例会は、６月19日から７月６日までの18日間の会期で開催され、平成30年度一般会計補正予算など知事提出の21議案を可決・同意しました。主な質疑内容は、次のとおりです。

## 代表質問の質疑内容

自由民主党　**鈴木 正法 議員**　西村山郡選挙区　６月22日
◆空港滑走路の延長について
◆県立病院の経営改善に向けた取組みについて
◆在宅医療の推進と介護を担う人材の育成確保について
◆企業の人手不足対策とＩｏＴの導入促進について
◆大学を起点とする起業の促進と人材の育成確保について
◆県産農産物の輸出促進と国際水準ＧＡＰ※の認証取得促進について
◆重要物流道路の指定に向けた今後の取組みについて
◆日本遺産「山寺が支えた紅花文化」の今後の展開について
◆探究型学習の推進と基礎学力の定着について
◆特別支援教育における教員の専門性の向上について
※ＧＡＰ（農業生産工程管理）は、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全等に関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ、生産工程の管理や改善を行うこと。

県政クラブ　**広谷 五郎左エ門 議員**　山形市選挙区　６月22日
◆インバウンド拡大に向けた取組みについて
◆人口減少を見据えた地域振興について
◆再生可能エネルギーの普及促進について
◆保育人材及び保育の質の確保について
◆健康長寿日本一を目指したがん対策の推進について
◆歯科保健対策の推進について
◆本県農業の体質強化について
◆学校における働き方改革の推進について

## 一般質問の主な質疑内容

自由民主党　**小松 伸也 議員**　最上郡選挙区　６月25日
◆県有施設の維持管理業務の一元化の検討について
◆森林環境税の活用と地域活性化について
◆最上地域における道の駅構想について など

県政クラブ　**松田 敏男 議員**　西村山郡選挙区　６月25日
◆受動喫煙防止対策について
◆消防団の運転免許制度改正への対応について
◆県産木材の利用拡大について など

日本共産党山形県議団　**渡辺 ゆり子 議員**　山形市選挙区　６月25日
◆地域公共交通の今後の計画について
◆種子法復活を求めることについて
◆県立図書館と地元書店との連携について など

自由民主党　**楳津 博士 議員**　寒河江市選挙区　６月25日
◆県産米輸出力強化に向けた今後の取組みについて
◆さくらんぼ新品種「山形Ｃ12号」の生産対策及び流通・販売対策について
◆少子化などにおける中学校の運動部活動のあり方について など

## 予算特別委員会の主な質疑内容

自由民主党　**佐藤 聡 議員**　鶴岡市選挙区　６月27日
◆庄内中高一貫校（仮称）の設置について
◆庄内空港の冬期間の運航確保について など

県政クラブ　**佐藤 昇 議員**　上山市選挙区　６月27日
◆安全で快適な道路の舗装修繕の進め方について
◆自転車保険の義務化について など

自由民主党　**能登 淳一 議員**　村山市選挙区　６月27日
◆本県産業を担う人材を確保する取組みについて
◆需要に応じた米生産について など

自由民主党　**矢吹 栄修 議員**　天童市選挙区　６月28日
◆山形県を「営業」する組織について
◆県の総合的な空き家対策と活用施策について など

無所属　**山科 朝則 議員**　新庄市選挙区　６月28日
◆農林大学校の専門職大学化について
◆新庄病院における障がい児医療・療育について など

自由民主党　**島津 良平 議員**　東置賜郡選挙区　６月28日
◆今後の風力発電の導入拡大に向けた取組みについて
◆「未来に伝える山形の宝」事業の今後の取組みについて など

県政クラブ　**髙橋 啓介 議員**　山形市選挙区　６月29日
◆子どもの貧困対策について
◆県立病院での医師の確保についてなど

自由民主党　**舩山 現人 議員**　東置賜郡選挙区　６月29日
◆夢の持てる農業高校教育について
◆将来人口予測からみた子育て政策の重点施策について など

## 日本海沿岸東北自動車道･東北中央自動車道の建設促進と羽越･奥羽本線等の高速化促進等を要望

５月11日、東京都内で、日本海沿岸東北自動車道及び東北中央自動車道の建設促進並びに羽越・奥羽本線等の高速化促進を求める３協議会の理事会を開催しました。

本県議会をはじめ、青森・秋田・福島・新潟の各県議会の議長などが出席し、本県議会の小野副議長が議長を務め、本年度の事業計画や要望事項などについて協議しました。

その後、引き続き、各県議会が連携して、国土交通省、ＪＲ東日本などの関係機関を訪れ、要望活動を行いました。

写真キャプション）国土交通省への要望活動の様子

## 未来を担う人材育成対策特別委員会で研修会を開催

県議会では、県政課題に対応するテーマを設定し、調査審議する３つの特別委員会を設置しています。

６月28日、未来を担う人材育成対策特別委員会において、「スポーツを通した人材育成」をテーマとした研修会を開催し、公益財団法人山形県体育協会の池田めぐみ氏から講演いただいた後、意見交換を行いました。

写真キャプション）研修会の様子

## 府省との意見交換会を開催

６月15日、東京都内で、今年度第１回目の府省との意見交換会を開催しました。

県議会議員16名が出席し、関係府省の職員を招いて、左記のテーマごとに３つの分科会に分かれ、国の制度等への反映や新たな施策の方向性を探るなど活発な議論を行いました。

◆2020年東京オリンピック競技大会等を契機とした東北地方へのインバウンドの推進
◆医師の偏在化対策等地域医療の充実
◆森林環境税（仮称）及び森林環境譲与税（仮称）の活用と地域の活性化

写真キャプション）意見交換会の様子

## 生徒・学生と県議会議員との意見交換会を開催

県議会では、選挙権年齢の引下げを機に生徒・学生から県議会を身近に感じていただくため、左記のとおり県議会議員との意見交換会を開催しました。

◆６月14日（木曜日）　鶴岡工業高等専門学校
◆７月12日（木曜日）　東北公益文科大学
◆７月17日（火曜日）　白鷹高等専修学校

※詳細は県議会ホームページでご覧いただけます。

写真キャプション）意見交換会の様子

### 地域議員協議会を開催

７月19 日、各総合支庁において、今年度第１回目の地域議員協議会を開催し、各地域における行政課題や施策について、地元選出の県議会議員が審議を行いました。

写真キャプション）地域議員協議会の様子

### 県議会ギャラリーの提供

より多くの県民の皆さんに県議会に足を運んでいただくきっかけとなるよう、県議会ギャラリー（議会棟１階のロビー）に県内の児童、生徒、学生の皆さんが制作した作品を展示しています。

写真キャプション）県立村山産業高等学校、山形市立第一中学校の展示の様子地域議員協議会の様子

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

１．定例会の概要や議会の日程
２．議会の生中継やこれまでの質疑の模様
３．可決した意見書・要望書の内容
４．各常任委員会・特別委員会での質疑内容
５．会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ◎編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話 023-630-2845

検索ワードに“山形県議会”を挿入しクリック！

## ＜12 から 13 ページ＞

タイトル） **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

## 村山　高速道で ぐるっと巡って おいしい山形へ!!

今年度、東北中央自動車道の 南陽高畠・山形上山 間と 東根・東根北 間の開通が予定されています。「東北」「山形」「東北中央」の３つの自動車道がつながり、山形・米沢・福島の移動時間が約１時間となるなど、山形・福島・宮城の交通ネットワークがグッと良くなります。

この機会を、山形県、村山地域へのさらなる観光誘客や企業進出などにつなげるため、山形の夏を代表するイベント「山形花笠まつり」パレードで、県内外からの観光客の方々に「開通ＰＲうちわ」を配布し、開通予定や整備効果、村山地域の観光情報などをＰＲしました。

今後も、9月16日に開催される「日本一の芋煮会フェスティバル」でＰＲを行うほか、さまざまな機会を捉えて、東北中央自動車道の開通効果などの情報を発信していきます。皆さんも、高速道でぐるっと巡って、「おいしい山形」を満喫してみませんか？

写真キャプション）開通ＰＲうちわ

東北中央自動車道の開通状況　旬な観光・イベント情報はこちらから

http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180001/koho/tohoku-chuodo.html

問い合わせ ◎ 村山総合支庁建設総務課 電話 023-621-8408

## 庄内　今年の秋は「おいしい食の都庄内」へ！

　ＪＲと自治体などが連携して「新潟県・庄内エリア　デスティネーションキャンペーン（ＤＣ）」が、「日本海美食旅（ガストロノミー）※」をキャッチフレーズに、来年開催されます。プレＤＣ、ＤＣ、アフターＤＣと３年にわたる大型の観光キャンペーンです。今年は、10月１日からプレＤＣが始まります。日本海と雄大な山々に育まれた、「食」、「酒」などの豊かな食文化を中心に、食を育んだ歴史や伝統、暮らし、風土など両地域の魅力を発信します。
10月20日には、シンボルイベントとして、県内の地酒、約50種類が試飲できる「おいしい食の都庄内酒まつり」を、酒田市で開催します。また、庄内の飲食店では、地元食材を使った期間限定の特別メニューの提供や乾杯用地酒のサービスなど、庄内の美食・美酒を楽しんでいただける企画が盛りだくさんです。
　今年の秋は、「おいしい食の都庄内」へ、ご家族・ご友人と一緒に、ぜひおいでください。

写真キャプション）羽黒山の精進料理（羽黒町観光協会提供）
写真キャプション）日本海の魚 絶品寿司（イメージ）

問い合わせ ◎ 庄内総合支庁観光振興室 電話 0235-66-5499
※ガストロノミー：「美食学」のこと。料理を中心として芸術、歴史、科学、社会学などさまざまな文化的要素を考える総合的な学問。

## 観光通信　山形日和

# 博物館・美術館を巡ろう！

　県内には、県外のファンがわざわざ足を運ぶような魅力的で、趣向を凝らした博物館・美術館が各地にあります。一人でゆっくり、または家族で博物館・美術館巡りはいかがですか？

**県立博物館（山形市）**
　太古から現代まで、本県の自然・歴史・文化の魅力を紹介しています。国宝土偶「縄文の女神」や世界的発見「ヤマガタダイカイギュウ化石」は必見。9月下旬からダイカイギュウがテーマの企画展も開催されます。
◎問い合わせ 電話 023-645-1111

**新庄ふるさと歴史センター（新庄市）**
　新庄まつりの優秀山車（やたい）の展示は圧巻。ほかにも旧石器から弥生時代の土器や雪国生活の知恵が凝縮された農民具の展示など昔の暮らしぶりを知ることができます。喫茶コーナーでちょっと一息もできます。
◎問い合わせ 電話 0233-22-2188

**米沢市上杉博物館（米沢市）**
　改革を指導し、成功に導いた九代藩主上杉鷹山を中心に、上杉氏ゆかりの品々や国宝を多数収蔵。見どころの一つは、京の都の日常生活を描いた「国宝『上杉本洛中洛外図屏風（うえすぎぼんらくちゅうらくがいず

びょうぶ)』」。名所の昔の姿を見ることができます。
◎問い合わせ電話 0238-26-8001

**土門拳記念館（酒田市）**
　日本で最初に誕生した写真美術館。昭和を代表する写真家・土門拳の気迫のこもった作品がご覧になれます。鳥海山を眺望できる、美しい自然とこだわりの建物が調和した芸術空間を体感してください。
◎問い合わせ 電話 0234-31-0028

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 電話 023-630-2373
詳しくは・・・検索ワードに“やまがたの博物館・美術館めぐり”を挿入しクリック！

## 旬のやまがた美食レシピ

## 復活を遂げた幻の豆！　馬のかみしめ

　日本一のえだまめ産地を目指す本県には、「だだちゃ豆」や「秘伝」など、おいしいえだまめが数多くあります。その中で、置賜地域には「馬のかみしめ」というおもしろい名前の在来種があります。大豆の表面には馬がかんだような跡があることから、この名前がついたといわれています。
一時は途絶えた品種だと思われましたが、長井市の生産者グループが種を保存していた農家から栽培を受け継ぎ、量を増やしていきました。味が濃く、かみ応えもたっぷり。そのおいしさから、味噌や納豆、菓子などの加工品にも利用されています。地元の直売所などで購入できます。
　今回は、長井市の元地域おこし協力隊、佐藤大(まさる)さんが考案したレシピをご紹介します。

「馬のかみしめペペロンチーノ」
●材料（１人前）：パスタ100グラム（細麺の「カッペリーニ」がおすすめ）、馬のかみしめ（えだまめ）30グラム程度（お好み量）、オリーブオイル30から45シーシー、ニンニク１片、鷹の爪お好み量

●作り方　：
❶フライパンに、オリーブオイル、ニンニク、鷹の爪を入れて弱火で炒める。
❷きつね色になったら、ゆでた馬のかみしめ（15グラム程度）をすり鉢でつぶして入れる。
❸火をごく弱火にして馬のかみしめが鮮やかなひすい色になるまで煮込む。
❹鍋にお湯をかけてパスタをゆでる。（水1000シーシーに10グラムの塩を入れる）
❺ゆで上がり直前にフライパンの具材にお玉１杯のゆで汁を入れ、ゆすってソースを乳化させる。
❻ゆで上がった麺をよく湯切りしてソースとあえる。
❼皿に盛りつけて、つぶしていない馬のかみしめをのせて完成。お好みで塩を軽くふりかける。

問い合わせ ◎ 置賜総合支庁農業振興課 電話 0238-26-6051

# ＜14 から 15 ページ＞

# タイトル）おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 平成30年７月１日現在
人口総数 1,091,303人（前月比マイナス681人）
世帯数398,195（前月比プラス81世帯）

## 催し物

### おいしい庄内空港空の日フェスタ

◆日時 ９月９日（日曜日） 午後１時30分から午後３時30分まで
◆場所 庄内空港駐機場内 ほか
◆内容 航空機の展示と紹介、空港で働く車の展示、滑走路ツアーなど
※空港内駐車場は定期便の利用者専用となりますので、臨時駐車場（イオンモール三川）をご利用ください。
　無料シャトルバスを運行します。
●問い合わせ 庄内空港事務所　電話 0234-92-4123

### おいしい山形空港フェスティバル2018

◆日時 9月23日（日曜日・祝日） 午前９時30分から午後３時30分まで
◆場所 山形空港
◆内容 フライトシミュレーター体験、滑走路ツアー、訓練飛行・デモフライト、管制塔見学会（要事前申込）、空港ナイトツアー（21日午後Ⅷ時15分から午後９時15分まで、要事前申込）など
　※申込方法はお問い合わせください。
●問 山形空港事務所　電話0237-48-1313

### 出羽三山シンフォニー

◆日時 ９月23日（日曜日・祝日） 開場午後１時／開演午後２時
◆場所 出羽三山神社（羽黒山山頂）※雨天時：鶴岡市櫛引スポーツセンター
◆入場料 一般2,000円、高校生以下1,000円（全席自由・当日券は各500円増）
◆内容 山形交響楽団によるフルオーケストラコンサート
●問い合わせ 観光立県推進課　電話 023-630-2371

### やまがたフラワーフェスティバル2018

◆日時 ９月29日（土曜日）午前10時から午後４時まで
　　９月30日（日曜日）午前９時30分から午後２時まで

◆場所 最上広域交流センターゆめりあ（新庄市）
◆内容 県産花き品評会、県産花きの展示と販売、花育教室、花いけバトルなど
※新庄駅東口の駐車場をご利用ください。
●問い合わせ 園芸農業推進課　電話023-630-2487

## 山形県農林水産祭　―林業まつり＆秋の食彩まつり―

◆日時 10月13日（土曜日）正午から午後４時まで
　　10月14日（日曜日）午前９時から午後３時まで
◆場所 山形県総合運動公園第2南駐車場（天童市）
◆内容 山形のおいしい食べ物や加工品の販売、木工体験教室、県産木材を使用した住宅や企業による森林づくり活動の説明展示、県産キノコや木工品の販売、丸太切り競争、つきたて餅の振る舞い など
●問い合わせ 農政企画課　電話　023-630-2417

## お知らせ

## 秋の交通安全県民運動（９月21日から９月30日まで）

日没が早まる秋は、夕暮れから夜間にかけて交通事故が多くなります。ドライバーは、ライトの早め点灯とハイビームの積極的な活用を心がけ、歩行者は夜光反射材を身につけて、交通事故を防ぎましょう。
●問い合わせ くらし安心課　電話 023-630-2429

## あなたの看板、点検してますか？～有資格者による点検と点検結果の提出が必要です～

近年、適切に管理されていない看板が落下または倒壊する事故が全国的に発生していることを受け、屋外広告物条例等を改正（平成30年10月1日施行）しました。
●点検を義務化　　全ての屋外広告物が対象です。
●点検には資格が必要です　　屋外広告士など有資格者が点検を行う必要があります。
●点検結果を報告してください　　屋外広告物の更新申請の際に点検結果を報告しなければなりません。
詳しくは検索ワードに“やまがたの屋外広告物”を挿入しクリック！
●問い合わせ 県土利用政策課　電話 023-630-2581

## ヘルプマークを知っていますか？援助が必要な方のためのマークです

義足や人工関節を使用している方、難病の方、妊娠初期の方など、外見からはわからなくても、援助が必要な方がいます。ヘルプマークを見かけたら、電車やバスで席を譲る、困っているようなら声をかけるなど、思いやりのある行動をお願いします。また、ヘルプマークを希望される方には、下記の窓口で配布します。
◆配布窓口 県障がい福祉課、各総合支庁、各市役所・各町村役場 ほか
●問い合わせ 障がい福祉課　電話 023-630-2293

## 平成30年　住宅・土地統計調査を実施します

9月上旬から調査地区に調査員が訪問します。インターネットまたは紙の調査票での回答にご協力をお願いします。調査結果は私たちの暮らしと住まいに関する計画や施策の基礎資料になります。

◆調査日 10月１日（月曜日）

◆調査世帯 県内約35,000世帯（無作為抽出で選ばれます）

●問い合わせ 統計企画課 電話 023-630-2177

## 山形交響楽団演奏会・プロスポーツゲーム情報

**第272回定期演奏会 ～トランペット協奏曲日本初演～**

開演日時　10月13日（土曜日）午後７時　10月14日（日曜日）午後３時

出演　指揮／飯森範親　トランペット／井上直樹

演目　ウィリアム・ペリー：トランペット　協奏曲（日本初演）　ほか

会場　山形テルサ

料金：自由席4,200円ほか

◎詳しくは検索ワードに“山形交響楽団”を挿入しクリック！

●問い合わせ　県民文化スポーツ課　　電話 023-630-2306

**サッカーＪ２（じぇいつー）「モンテディオ山形」ホームゲーム**

日時：９月1日（土曜日）午後７時／対戦チーム：ロアッソ熊本

日時：９月15日（土曜日）午後７時／対戦チーム：ヴァンフォーレ甲府

日時：９月30日（日曜日）午後２時／対戦チーム：松本山雅FC

日時：10月21日（日曜日）午後１時／対戦チーム：アビスパ福岡

日時：10月28日（日曜日）午後２時／対戦チーム：水戸ホーリーホック

会場：ＮＤソフトスタジアム山形（天童市）

◎詳しくは検索ワードに“モンテディオ山形”を挿入しクリック！

**プロバスケットボールB2リーグ「パスラボ山形ワイヴァンズ」ホームゲーム**

日時：10月６日（土曜日）午後６時／10月７日（日曜日）午後２時　対戦チーム：島根スサノオマジック

日時：10月13日（土曜日）午後６時／10月14日（日曜日）午後２時　対戦チーム：青森ワッツ

日時：10月24日（水曜日）午後６時30分　対戦チーム：群馬クレインサンダーズ

会場：山形県総合運動公園総合体育館アリーナ（天童市）

詳しくは検索ワードに“山形ワイヴァンズ”を挿入しクリック！

●問い合わせ　県民文化スポーツ課　電話 023-630-2284

※前売券は、コンビニなどでお買い求めになれます。ただし、店舗により取り扱っていない場合もあります。

## ～明治のこぼれ話～

私たちにとって身近な「給食」。そのルーツは本県にあったのです。明治22年、鶴岡市大督寺の本堂の一

部を利用して開設した「私立忠愛学校」において、生活が苦しく、弁当を持ってこられなかった子どもに昼食を提供したのが、日本の給食の始まりと言われています。発祥の地大督寺には、記念碑が建立されています。

## ちょこっと県政

　県民の皆さんからの相談窓口として、県庁に「県民相談室」と各総合支庁・地域振興局に「総合案内窓口」を設置しています。県政に関するご意見・ご提案など、お気軽にご相談ください。

【相談窓口】

県民相談室　電話 023-630-3030

村山総合支庁　電話 023-621-8288

村山総合支庁西村山地域振興局　電話 0237-86-8700

村山総合支庁北村山地域振興局　電話 0237-47-8600

最上総合支庁　電話 0233-29-1360

置賜総合支庁　電話 0238-26-6000

置賜総合支庁西置賜地域振興局　電話 0238-88-8200

庄内総合支庁　電話 0235-66-2121

**山形県ホームページに、「ご相談窓口一覧」を掲載しています。ご活用ください！**

検索ワードに“山形県　相談窓口”を挿入しクリック！

## プレゼントクイズ

県産品ブランドプロモーションの旗印となるブランドマークを５種類作りました。赤の背景は「〇〇〇〇〇」をイメージした色です。〇〇〇には何が入るでしょう。ヒント　４ページ「特集１」

１等　雪若丸と山形ブランドマークピンバッジ　【５名様】

２等　花べっこう飴　【10名様】有限会社大山製菓（山形市）

正解者の中から抽選で賞品（指定はできません）をプレゼント！はがきに１．クイズの答え　２．「県民のあゆみ」への感想など　３．郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を記入してお送りください。Ｅメールでの応募の場合は、本文に１から３をご記入のうえ、タイトル「プレゼントクイズ」で、

y-ayumi@pref.yamagata.jpに送信してください。

あて先：郵便番号990-8570（住所は不要です）

山形県広報広聴推進課「県民のあゆみ」９月号プレゼントクイズ係

締め切り：９月30日（日曜日）（当日消印有効）

※応募いただいた個人情報は、賞品発送と「県民のあゆみ」の記事作成にのみ使用し、それ以外の目的には使用いたしません。なお、当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## ＜16 ページ＞

## タイトル）やまがた伝説

日本一の生産量を誇る天童市の将棋駒。その始まりや作り方の違いを知ってる？

### 今ブームの将棋駒のほとんどが天童で作られているんですって！

　藤井聡太七段の活躍や映画「３月のライオン」の公開など、大人はもちろん、子どもたちにも大人気の将棋。国内で生産される将棋駒のほとんどは、天童市で作られています。幕末の頃、天童藩家老の吉田大八が藩士に手内職として奨励したのがきっかけで駒づくりが始まりました。

### 駒と一言で言ってもたくさんの種類があるんだって！

　将棋駒は、木と漆と文字による小さな芸術です。材料となる木は「ツゲ」などが使われ、作り方は「彫り駒」、「盛り上げ駒」など５種類、書体は数多くあります。駒づくりの工程は分業され、木地師、書き師、彫り師、盛り上げ師が協力して作り、伝統を支えているのです。

### 天童は全国に知られる「将棋のまち」なんだね！

　天童市では、甲冑や着物姿の武者や腰元たちが将棋の駒となり、戦国絵巻を繰り広げる「人間将棋」やタイトル戦などの大きなイベントが開催されます。また、歩道に詰め将棋が19か所も設置されるなど、「将棋のまち」として多くの観光客が訪れ、その歴史文化に触れています。

### 将棋駒についてお話をお聞きした森谷 有紀子さん

天童市将棋資料館

将棋の発祥や日本への伝来などをわかりやすく展示しています
天童市将棋資料館は将棋や駒について知ることができる全国でも数少ない施設で、遠くからも将棋ファンが訪れます。ぜひ見学して将棋に親しんでください。

## 奥付

山形県広報誌　県民のあゆみ　平成30年９月号 605号
奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課
郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目８番１号　電話 023-630-2534
表紙題字｜山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス http://www.pref.yamagata.jp/